

# 選考結果総括表

府省庁名 文部科学省

役職		現任者				任命予定者			選考経過
		氏名	年齢	当初就任 年月日	前職	氏名	年齢	現(前)職	
(独) 国立青少年 教育振興機構	理事長	田中 壮一郎	67	H20.4.1	(独)国立青少年教 育振興機構理事 長 文部科学審議官 [OB]	鈴木 みゆき	61	和洋女子大学人文学群 こども発達学類教授 (独)国立青少年教育振 興機構理事(非常勤)	<p>応募総数 8名 ↓ 書類選考 ↓(3名) 面接 ↓(3名) 面接した他の候補者の 情報と併せ、検討の上、 任命権者が選任</p>
(独) 国立美術館	理事長	馬淵 明子	69	H25.8.1	日本女子大学人 間社会学部教授	柳原 正樹	64	(独) 国立美術館理事	<p>応募総数 3名 ↓ 書類選考 ↓(3名) 面接 ↓(2名) 任命権者が 適任者なしと判断</p> <p>推薦方式に移行 任命権者が提示 ↓(1名) 推薦委員会 ↓(1名) 任命権者が選任</p>

(独)国立文化財 機構	理事長	佐々木 丞平	75	H19.4.1	(独)国立博物館 理事	松村 恵司	66	(独)国立文化財機構理 事 文化庁文化財部文化財 鑑査官[OB]	応募総数 3名 ↓ 書類選考 ↓(3名) 面接 ↓(2名) 面接した他の候補者の 情報と併せ、検討の上、 任命権者が選任
----------------	-----	--------	----	---------	----------------	-------	----	---	--

※ 公務員OB該当者は、現任者及び任命予定者の「現(前)職」欄に[OB]と記載すること。

### 独立行政法人国立青少年教育振興機構役員名簿新旧対照表

役職	現任者						就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日
	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
公募 理事長	田中 壮一郎	67	H20.4.1 (H19.8.1)	4	H29.3.31	文部科学審議官 (独)国立青少年教育振興機構理事	鈴木 みゆき	61	和洋女子大学人文学群こども発達学類教授 (独)国立青少年教育振興機構理事(非常勤)	文部科学大臣	H29.4.1
理事	伊野 亘	57	H28.4.1	2	H30.3.31	(独)国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家所長				理事長	
理事	松川 憲行	55	H27.4.1	2	H29.3.31	文部科学省スポーツ・青少年局 学校健康教育課長 (独)国立青少年教育振興機構副 理事(兼)総務企画部長 【役員出向】				理事長	
理事	久保田 達也	55	H28.4.1	2	H30.3.31	国立大学法人九州工業大学理 事・副学長・事務局長 文部科学省生涯学習政策局生涯 学習推進課民間教育事業振興室 長 【役員出向】				理事長	
理事 (非常勤)	明石 要一	58	H26.4.1	2	H30.3.31	国立大学法人千葉大学教育学部 長・副理事				理事長	
理事 (非常勤)	鈴木 みゆき	69	H28.4.1	2	H30.3.31	和洋女子大学人文学群こども発 達学類教授				理事長	
監事 (非常勤)	鈴木 眞理	61	H23.7.1	※	H33.8	青山学院大学教育人間科学部長				文部科学大臣	
監事 (非常勤)	原口 秀夫	66	H27.4.1	※	H33.8	千葉興業銀行監査役 (公財)損保ジャパン美術財団専 務理事・館長				文部科学大臣	

※監事の任期は、中期目標の期間の最後の事業年度(H32年度)についての財務諸表承認日まで。

## (独) 国立青少年教育振興機構理事長選任理由

本法人は、我が国の青少年教育の振興及び青少年の健全育成を図ることを目指している。

そうした組織にあって、本ポストには、そのミッションとして、本法人を代表し、法人全体の運營業務を総理するとともに、青少年教育の振興及び健全な青少年の育成をより一層効率的かつ効果的に推進することが求められる。

本件公募に対しては、8人の応募があり、選考委員会による書類選考で3人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、理事長として適任であるとの評価を得た候補者及び絞り込む前の候補者の情報を文部科学大臣に提示し、その評価結果を参考にしつつ、最終的に文部科学大臣が鈴木みゆき氏を選任したところである。

任命理由は、現職の理事として本法人の役割等について十分な理解を持つとともに、幼児教育等を専門とする大学教授として教員養成に関わりながら、地方自治体の教育委員として教育行政にも参画するなどの経験から、職務内容書で必要とされる知見及び能力が十分にあることが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて高く評価されたことによるものである。

特に同人は、本法人が全国28施設で推進している地域の特性等を活かした様々な事業について、今後、地域の機関や団体、住民と連携を深め、いわば「半国立、半地域立」の拠点となれるよう、「質・量」とともにその充実に尽力したいと考え、職員の資質向上、新しい知識や情報のリテラシーが重要であるということに鑑み、研修の更なる充実を提案するなど、本法人の運営に対する熱意をもっており、文部科学大臣もそうした能力と情熱に大いに期待しているところである。

## 選考委員会の属性について

### 【文部科学省】

- ・ 独立行政法人国立青少年教育振興機構

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

・ 団体役員	2名
・ 公認会計士	1名
・ 弁護士	1名
・ 大学教授	1名
計	5名

## 独立行政法人国立美術館役員名簿新旧対照表

公募

現任者							就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日
役職	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
理事長	馬淵 明子	69	H25.8.1	4	H29.3.31	日本女子大学人間社会学部教授	柳原 正樹	64	(独)国立美術館理事	文部科学大臣	H29.4.1
理事	山下 和茂	55	H27.8.4	4	H32.1.5	文化庁文化財部長 【役員出向】				理事長	
理事	山梨 俊夫	69	H23.4.1	4	H29.3.31	神奈川県立近代美術館長				理事長	
理事	柳原 正樹	64	H26.4.1	4	H30.3.31	京都国立近代美術館長 富山県立水墨美術館長				理事長	
監事 (非常勤)	山脇 佐江子	70	H28.8.1	※	H33.8	美術評論家、元姫路市立美術館館長				文部科学大臣	
監事 (非常勤)	増田 正志	67	H28.8.1	※	H33.8	公認会計士				文部科学大臣	

※監事の任期は、中期目標の期間の最後の事業年度(H32年度)についての財務諸表承認日まで。

## (独) 国立美術館理事長選任理由

本法人は、美術館を設置して、美術（映画を含む。）に関する作品その他の資料を収集し、保管して公衆の観覧に供するとともに、これに関連する調査及び研究並びに教育及び普及の事業等を行うことにより、芸術その他の文化の振興を図ることを目的としている。

そうした組織にあって、本ポストには、そのミッションとして、国立美術館を代表して、法人全体の運営業務を総理するとともに、我が国の「顔」として海外の主要な美術館、作家等と連携する等、我が国の美術館のナショナルセンターとして、美術館活動全体に寄与することが求められている。

今回の理事長選考に際しては、当初に公募を行い、4人の応募があったが、選考委員会による書類選考、面接審査の結果、「適任者なし」と判断した。その結果を受け、任命権者である文部科学大臣が、美術館行政に取り組み、実績をあげている者として、柳原正樹氏を本法人の理事長候補者として推薦し、推薦委員会で審査を行った。その結果、理事長として適任であるとの評価を得たことから文部科学大臣が柳原正樹氏を選任したところである。

柳原氏は、美術館の業務に長く携わり、美術館の管理運営の経験が豊富であるとともに、コスト意識もさることながら、美術館は単なる鑑賞の場だけではなく、社会的な役割を視野に入れた活動へと、その姿を変えていかなければならないと美術館のあり方に関する問題意識を強く持っており、職務内容書で必要とされる知見及び能力が十分にあることが、推薦委員会の審査において適任と評価されたことによるものであり、文部科学大臣もそうした能力と情熱に大いに期待しているところである。

## 選考委員会の属性について

### 【文部科学省】

- ・ 独立行政法人国立美術館

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

・ 団体役員	2名
・ 公認会計士	1名
・ 弁護士	1名
・ ジャーナリスト	1名
計	5名

## 推薦委員会の属性について

### 【文部科学省】

- ・ 独立行政法人国立美術館

推薦委員会のメンバーの属性は以下のとおり

・ 団体役員	2名
・ 公認会計士	1名
・ 弁護士	1名
・ ジャーナリスト	1名
計	5名

## 独立行政法人国立文化財機構役員名簿新旧対照表

役職	現任者						就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日
	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
公募 理事長	佐々木 丞平	75	H19.4.1	4	H29.3.31	(独)国立博物館理事	松村 恵司	66	文化庁文化財部文化財鑑査官 (独)国立文化財機構理事	文部科学大臣	H29.4.1
理事 (非常勤)	渡邊 妙子	79	H26.7.1	1	H30.6.30	佐野美術館長				理事長	
理事	松村 恵司	66	H23.10.1	4	H29.3.31	文化庁文化財部文化財鑑査官 (独)国立文化財機構奈良文化財研究所客員研究員(非常勤)				理事長	
理事	池原 充洋	58	H26.4.1	4	H29.3.31	文部科学省大臣官房国際課長 国立大学法人埼玉大学理事・事務局長【役員出向】				理事長	
監事 (非常勤)	久留島 典子	61	H27.4.1	※	H33.8	国立大学法人東京大学史料編纂所長				文部科学大臣	
監事 (非常勤)	中元 文徳	68	H26.7.1	※	H33.8	公認会計士				文部科学大臣	

※監事の任期は、中期目標の期間の最後の事業年度(H32年度)についての財務諸表承認日まで。

## (独) 国立文化財機構理事長選任理由

本法人は、博物館を設置して有形文化財を収集し、保管して公衆の観覧に供するとともに、文化財に関する調査及び研究等を行うことにより、貴重な国民的財産である文化財の保存及び活用を図ることを使命としている。

そうした組織にあつて、本ポストには、そのミッションとして、本法人を代表し、法人全体の運營業務を総理するとともに、国民的財産である文化財の保存と活用をより一層効率的かつ効果的に推進することが求められる。

本件公募に対しては、3人の応募があり、選考委員会による書類選考で2人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、特に適任であるとの評価を得た1人及び絞り込む前の候補者の情報を文部科学大臣に提示し、その評価結果を参考にしつつ、最終的に文部科学大臣が松村恵司氏を選任したところである。

松村氏は、これまで本法人理事、奈良国立文化財研究所長として、組織のマネジメントの経験を有し、在任中、各施設の外部資金による研究費の確保を積極的に推進し、採択件数を増加させるなど経営資源の調達を指揮した。また、各施設に対しナショナルセンター機能の強化や対外広報の促進に計画的に取り組み、収蔵品の貸与件数や公私立博物館等に対する指導助言件数等に反映するなどの実績をあげており、職務内容書で必要とされる能力、経験を十分に有していることが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて高く評価されたことによるものである。

特に、同氏は文化財保護現場での経験が豊富で高度な専門知識と長年培われた各分野関係者とのネットワークをもっており、文部科学大臣もそうした能力に大いに期待しているところである。

## 選考委員会の属性について

### 【文部科学省】

- ・ 独立行政法人国立文化財機構

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

・ 団体役員	2名
・ 公認会計士	1名
・ 弁護士	1名
・ 大学教授	1名
計	5名